

気づき・発見・いろいろ

# ぱれっと

第6回

もっと気楽に  
優先座席

1995年から2004年までの10年間は、  
「人権教育のための国連10年」です。

「気づき・発見・いろいろ ぱれっと」は、  
身近なものごとをテーマに暮らしやすい社会や、  
多様な人間関係のあり方について考えるコーナーです。

見つけたで! こんな色



電車やバスにある優先座席。その名のとおり、お年寄りや障害のある人、妊娠している人など、立っているのがつらい人に優先的に譲るよう設けられている席です。でも、その他の人が、なんとなく座ってはいけないような気がするとか、あとで席を譲ることになると面倒だからという理由で優先座席を敬遠してしまったり、あるいは席を譲ってほしい場合でも、優先座席でなければ声をかけにくくて遠慮してしまったり。そういう経験、ありませんか？

阪急電鉄では、1999年に、車内の一部に設けられていた優先座席を全席に拡大し、座席の色分けもやめました。近年、働く女性や車いすで外出する人が増えたこと、また高齢化が進み、さまざまなニーズをもった人の利用が増加し、優先座席の数を増やしてほしいという要望が寄せられるようになったそうです。そこで社内で議論のうえ、現在のようなかたちに変えられました。乗客からは「優先座席を廃止したのか」という誤解もあったものの、おおむね好評だといえます。席を譲る側も譲られる側も、どの席でも声をかけやすくなったというのが理由のひとつのようです。逆に考えると、優先座席以外の席では声をかけにくいと感じていた人が多いというこ

とでしょうか。声をかけることに対して、面倒くさく感じたり、必要以上に気を回したり遠慮したりしてしまっているのかもしれない。

車内で立っているのがつらいときには「席を譲ってもらえませんか」と自分から声をかける、あるいはしんどそうな人を見かけたら「どうぞ」と席を譲る。優先座席だからというのではなく、自分で状況を判断して声をかけてみる。「なんとなく」の気まずさから一歩踏み出したコミュニケーションは、そこから始まるのだと思います。

電車の中だけでなく、街全体が、人と人とがゆるやかにつながっていくような空間になればいいですね。

くらげ企画(文・河昭子、写真・白砂大地)

みなさんのご意見、ご感想をおよせください。

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500

総合生涯学習センター『いちよぎ並木・ぱれっと』係

メールの場合は、namiki@osakademanabu.com

いただいたご感想は、このコーナーで紹介させていただく場合があります。

メディアを使った学びを応援します

## 総合生涯学習センター・視聴覚ライブラリー

おもに大阪市内の学校教育・社会教育関係団体(PTA、子ども会など)を対象に、映像教材を無料で貸し出しています。研修会等に、どうぞご利用ください。ビデオ・16ミリフィルムの個人向け貸出しはしていません。

- (貸出教材) ビデオ・3本以内、16ミリフィルム・合計120分以内
- (利用期間) 最大7日間(6泊7日)
- (予約方法) 電話・FAX・窓口で、当月を含む3ヶ月(月単位)まで予約できます。
- (貸出返却) 直接来館で。

受付 9:30~21:30(日・祝は17:00まで)

休み 第1・3火曜日

問合せ tel.6345-5020 fax.6345-5019

人権学習用映像ソフト一覧・最新版完成!



センターで貸出しているビデオ・16ミリフィルム一覧を載せた冊子ができました。人権に関する学習会にお役立てください。総合生涯学習センターで配布しています。

## ライブラリーがおすすめする 研修・学習会用ビデオ教材

「生徒の心をつかみたい  
スクールカウンセリング 2  
不登校・いじめとその対応」

41分(資料番号5392)

多くの学校が抱えている問題、不登校といじめ。年々増加する不登校児について、何事も起こっていないときの指導の大切さと不登校児への援助の方法を解説します。また、現在のいじめの構図、いじめをなくすための教師たちの努力を紹介しながら、いじめへの指導的介入の方法を解説します。

\*教材リストは、インターネットで見ることができます。  
<http://www.manabi.city.osaka.jp/>  
から「視聴覚教材」をクリックしてください。

<必要事項>とは... 講座名(催物名)・〒住所・名前(ふりがな)・年齢・連絡先(電話番号、あればFAX番号も)を記入する。

「手話通訳」準備可能講座で希望者はその旨を、「一時保育」準備可能講座で希望者は子どもの名前・年齢、アレルギーの有無を記入する。